

# 「企業理念」「安全憲章」

JR西日本の経営の基本は、福知山線列車事故を機に全社員で作り上げた「企業理念」と「安全憲章」にあります。「企業理念」「安全憲章」のもと、全社員が心を一にし、安全を最優先する企業風土を構築するための努力を積み重ね、お客様や株主をはじめ、当社を支えるあらゆる関係者の方々のご期待に応え、将来にわたる持続的発展を図ってまいります。

## JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切に、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

「企業理念」は、JR西日本が目指す方向性、大切にしたい共通の価値観を示したものであり、福知山線列車事故を真摯に受け止め、新たなJR西日本を築き上げようとする、社員全員の決意をあらわすとともに、世の中の皆様に対する宣言でもあります。「企業理念」の名称、そして各項目の冒頭にある「私たち」という言葉には、社員と役員が一体となって作り上げたものであり、社員、役員、その総体である会社のすべてが取り組みの主役であるとの思いを込めています。

### 新たな「企業理念」制定までの取り組み



## 安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえのない命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

「安全憲章」は、「企業理念」第一項に掲げた安全に関する具体的行動指針であり、JR西日本の一人ひとりが安全の担い手であることを自覚し、日常の場において、安全を最優先するという価値観に基づく行動が自然に出るよう定めたものです。前文では、福知山線列車事故を深く胸に刻み込むことを明確に表現し、このような事故を起こさないとの決意を盛り込んでいます。

当社は、会社発足直後の昭和62年7月、全社員が参加し、会社のあるべき姿、全社員で共有すべき価値観を示した「経営理念」を制定、それ以来、この理念のもとで全社一丸となってさまざまな取り組みを進めてきました。しかしながら、平成17年4月25日の福知山線列車事故を機に、安全を最優先する企業風土を構築するため、当社の憲法ともいえるこの「経営理念」を見直すこととし、会社発足20年目を迎えるなか、当社の目指すべき方向性、価値観について、改めて全社員で議論を重ねるとともに、社外のさまざまな分野の有識者の方々の意見も伺い、平成18年3月に新たな「企業理念」を制定しました。

あわせて、安全に関する具体的行動指針である「安全憲章」についても、事故を決して忘れることなく、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的行動を起こせるよう見直しを行い、新たな「安全憲章」を制定しました。

取り組みをスタートする平成18年4月1日、全現場長を社員研修センターに集め、制定式を行いました。「企業理念」「安全憲章」に込めた思いを全員で共有し、職場での実践に努めることを決意しました。



「企業理念」「安全憲章」制定式

## 「企業理念」の再徹底

このたび、役員等による情報漏えい等についての働きかけ問題が発生し、世の中に対する宣言でもある「企業理念」を守れなかったことを重く受け止めています。これまで各職場にポスターを掲示したり、一人ひとりがカードを携帯することで、「企業理念」に照らして自らの行動を振り返るきっかけとしてきましたが、今回の問題に正面から向き合い、二度とこのような行為を起こさないよう、「企業理念」を改めて徹底し、誠実かつ公正な企業行動の基盤となる、共通の価値観の醸成を図っていきます。そのため、本報告書を「企業理念」実践のための考動の手引きとして活用し、社内に対話を重ね、具体的行動につなげていきます。



「企業理念」「安全憲章」に込めた思いを全社員で共有するため、本社ビル1階エレベーターホールに掲出しています。

## JR西日本グループ中期経営計画2008-2012

平成20年5月、「企業理念」を実現するという経営の原点に立ち返り、実現に向けた中長期戦略を示した「JR西日本グループ中期経営計画2008-2012」を策定しました。この計画を着実に実行することで、さらなる安全性向上、皆様からの信頼回復、そしてこれらを基盤とした将来にわたる持続的発展を図っていきます。(全文は当社ホームページをご覧ください)

### 企業理念

10  
年  
後  
の  
目  
標

中長期的に目指す姿

- 福知山線列車事故を決して忘れることなく、より高い安全性を追求し続けるとともに、活力ある技術・技能集団を形成し、安全マネジメントにおいて卓越した企業となることを目指します。
- お客様に安心、信頼していただける輸送サービスの提供、情報・通信分野の先端技術によるお客様とのつながりの強化、駅・車内におけるグループ一体となった快適なサービスの提供等を通じ、お客様に信頼性、満足度の高い価値を感じていただける、オンリーワンサービスの提供を目指します。
- 鉄道部門と事業創造部門が一体となって、沿線の皆様と連携しながら快適で利便性・機能性に富んだ駅及びその周辺のまちづくりを推進し、線区価値向上を目指します。
- 「人」と「技術」に立脚した優れた経営基盤を構築し、あらゆる可能性の追求を目指します。
- 健全な事業活動を通じ、社会の公器(※)として、地域、社会から信頼される企業グループとなることを目指します。

※JR西日本グループが健全な事業活動を通じ、「社会に有益な価値を提供し続ける存在」になりたいという思いを込めて、「社会の公器」と表現しました。

#### ◎お客様の死傷事故ゼロ、社員の重大労災ゼロへ向けた体制を構築します。

○福知山線列車事故を重い教訓として、より高い安全レベルを構築していくことを基盤に、社員の意識や企業風土の変革を原動力として組織の活性化を図り、お客様満足の追求、技術・技能の向上、企業の社会的責任の遂行を通じ、安心と信頼のブランドを確立していきます。

#### 安心と信頼のブランドの確立

- 1.被害に遭われた方々への精一杯の対応
- 2.より高い安全レベルの構築による安心の追求
- 3.お客様満足の追求
- 4.技術・技能の向上
- 5.働きがいと誇りの醸成
- 6.地球環境保護に向けた取り組み
- 7.企業の社会的責任の遂行

○お客様に選択していただくことを通じて企業価値を高め、これにより更なる安全性の向上、サービス改善、成長分野の拡大につなげていくスパイラルを確立し、企業グループとしての持続的発展を図ります。

#### 持続的発展に向けた事業戦略の推進

- 1.山陽新幹線ルネッサンス
- 2.京阪神エリアにおける線区価値の向上
- 3.業務プロセス・運営体制のシステムチェンジ

○鉄道システムの革新など、長期的視点からの経営構想を構築し、その早期実現を図ります。

#### 長期的視点からの経営構想の構築

- 1.鉄道システムの革新
- 2.ローカル線の取り組み
- 3.新たな成長プロジェクトの創出

5  
年  
後  
の  
目  
標

経営目標